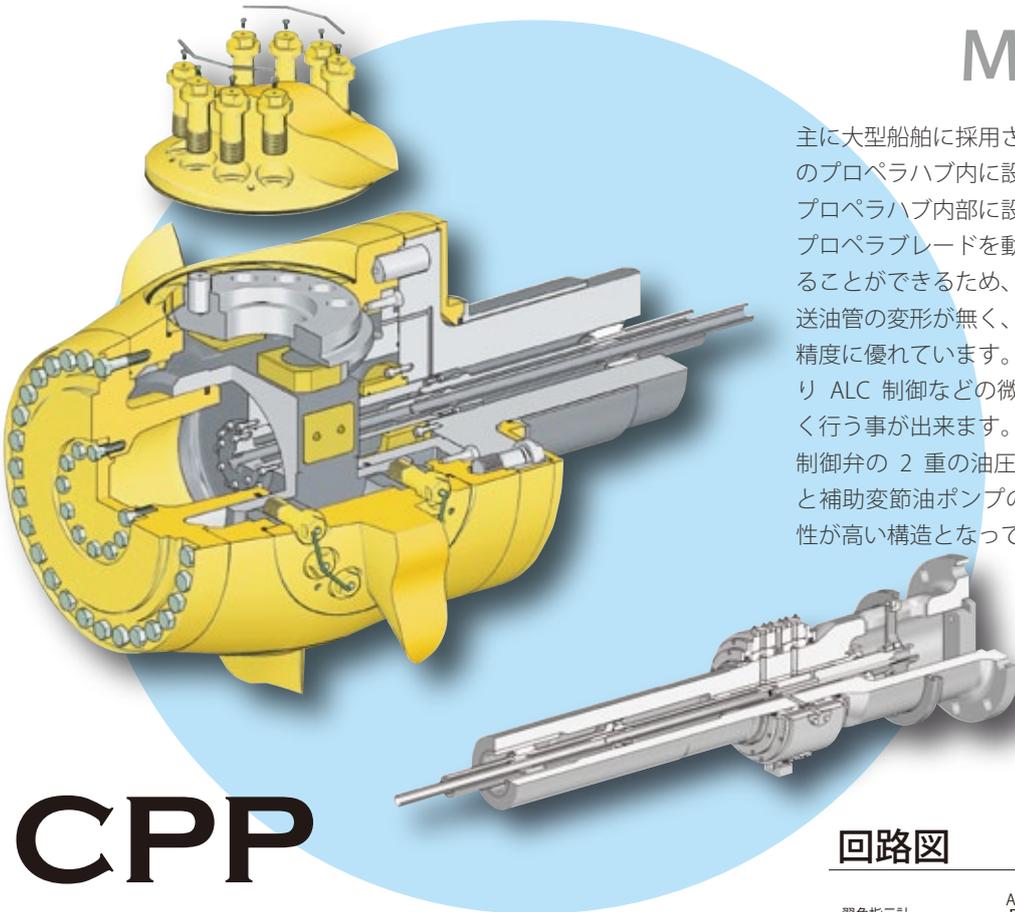


MODEL XL

主に大型船舶に採用され、変節用油圧シリンダが船外側のプロペラハブ内に設けられています。

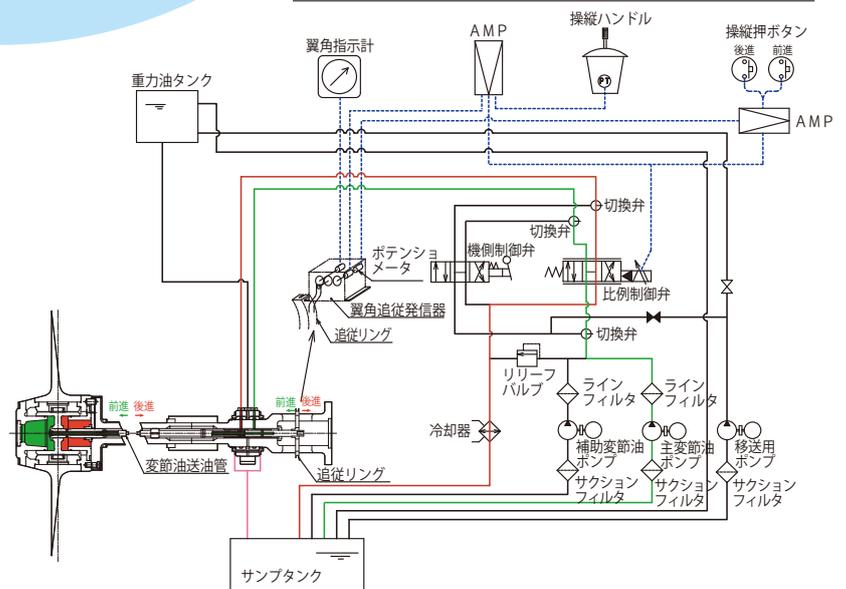
プロペラハブ内部に設けられている油圧シリンダが直接プロペラブレードを動かすことによって翼角を変節させることができるため、送油管に変節力が作用しないので送油管の変形が無く、ロッド方式と比較して翼角の制御精度に優れています。さらに、比例制御弁を採用しており ALC 制御などの微小な翼角制御がスムーズに精度よく行う事が出来ます。常用の比例制御弁、非常用の機側制御弁の 2 重の油圧系統を設け、また主変節油ポンプと補助変節油ポンプの 2 台を装備しており、より安全性が高い構造となっています。



CPP



回路図



Controllable Pitch Propellers

特徴

1. 主機出力を有効に利用し燃料消費量を最小にするような運行が可能。
2. 前進一杯から後進一杯まで翼角の制御を連続的に行うことで、効率的な運転、高い停止性能、離着岸時間を短縮。
3. プロペラ推進効率、主機燃料消費量などを総合的に考慮した最適効率点での運行による、燃料消費量の節減。
4. トロール船、曳船などの荷重条件の変化が大きい船でも要求される船速もしくは推力を得ることができる。
5. 荒天時の運行の際にプロペラピッチ角を通常運行時よりも減らすことにより、主機のトルクリッチが避けられる。

採用実績

タンカー、フェリー、タグボード、漁船、作業船